

競技注意事項

1 規則について

本競技会は令和4年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項に従って実施する。

2 ナンバーカードについて

ナンバーカードは主催者が2枚用意する。そのままの大きさと胸と背に確実につけること。ただし、跳躍競技者は胸、または背だけでもよい。トラック種目出場者は主催者が用意する写真判定用腰ナンバー標識（競技終了後回収）をパンツの右下や後方に付ける。すべてのナンバーカードは折り曲げたりしてはならない。

3 競技者の招集について

- 1) 今大会において、招集は、a) 大会本部にて一次招集、b) 各種目のスタート地点にて最終招集を行うこととする。a) 一次招集は全競技開始1時間前、b) 最終招集においてトラック競技は競技開始30分前、フィールド競技は競技開始50分前に開始し、完了するものとする。
- 2) 代理人による点呼は認めない。ただし、競技者が他の種目に出場中の場合、代理人は競技者が競技中である旨を必ず競技者係に申し出ること。また、同時進行種目への出場競技者は重複出場者届（招集所に用意）を競技者係に提出すること。
- 3) 招集完了時刻に遅れると、当該種目を棄権したものとして処理するので注意すること。
- 4) リレー競走は、オーダー変更の有無にかかわらず、オーダー用紙（招集所に用意）に記入して、招集開始時刻1時間前までに競技者係に提出すること（メンバーについては 競技規則第170条を参照のこと）。
- 5) 棒高跳の招集は現地にて行う。

4 トラック競技について

- 1) トラック競技の計時は、すべて電気計時（1 / 100 秒）を用いて行う。
- 2) トラック競技の走路順は、プログラム記載順とする。エントリーが6名以下の場合、1レーンを空けて2レーンから行う。
- 3) 対校800m 競走は、各校の正選手2名が予め定められた1つのレーンに入って出発する。
- 4) タイムにより次のラウンドの出場者を決める際に、同記録者があり、レーンが不足する場合は、写真判定員主任が1,000分の1秒単位の時間を判定して出場者を決める。それでも決まらない場合は、当該競技者もしくはその委任を受けた代理人により抽選を行い決定する（競技規則第167条同成績に関する条項を参照）。
- 5) 本大会で使用するシューズについてはWA規定を適用する。当日現地招集時にシューズの照合を行う。

5 フィールド競技について

- 1) 試技順は、プログラム記載順とする。
- 2) 対校種目とオープン種目がある競技に関しては、対校種目とオープン種目を同時に行い、試技順は対校種目の次にオープン種目を行うものとする。
- 3) 跳躍競技（長さで順位を決定する競技）の試技数は次の通りとする。対校種目については、全員3回の試技を行い、上位8名が記録順にさらに3回の試技を行って順位を決定する。出場選手が8名に満たない場合は、出場選手全員が6回の試技を行って順位を決定する。ただし、オープン種目については、試技の回数は3回とする。

- 4) 跳躍競技(高さで順位を決定する競技)のバーの上げ方は次の通りとする(ただし、天候等の状況により変更することもある)。

走高跳	練習	1	2	3	4	5	6	7	以後、最後の1人になり、優勝者が決まるまでは3cm刻みとする
	1m75	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	
棒高跳	練習	1	2	3	4	5	6	以後、最後の1人になり、優勝者が決まるまでは10cm刻みとする	
	3m00	2m80	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80		

- 5) 三段跳の踏切板の位置は、砂場に近い方の端から男子11m、女子9mとする。

6 用器具について

- 1) 競技に使用する用器具(やり・棒高跳用ポールを除く)は、すべて主催者側が用意したものを使わなければならない。
- 2) 持ち込みのやりに関しては、検定を受け合格したものに限り使用できる。検定は、招集完了時刻90分前から60分前までとし、本部にて行う。なお、検定に合格したやりは、他の競技者と共有となる。また、破損については、持ち込み者個人の責任とする。持ち込みのやりは競技終了後検定実施場所にて返却する。

7 商標等について

競技者が競技場に商品名のついた衣類、バックなどを持ち込む場合は、「競技会における広告および展示物に関する規定」を遵守すること。基準をこえる商標については必ずガムテープ等を貼って隠すこと。

8 その他

- 1) 2022年度の日本陸上競技連盟競技規則修正点について特に注意すること。
- 2) 本競技会における不正スタートに関しては、国際陸上競技連盟(IAAF)が決定した1回失格の規則を用いる。
- 3) 競技者はビデオ、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込んで서는ならない。
- 4) 競技運営上、多少の競技日程変更がある場合もある。
- 5) 競技中の事故等による身体の故障の場合、医務員が応急処置を行う。
- 6) 緊急車輛の手配について
救急車などの緊急車輛を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部および競技場側の許可なく手配をしないこと。手配する場合は、大会本部より車輛の手配を行うので、その際は、詳細を含め大会本部に連絡すること。
- 7) 慶應義塾大学日吉陸上競技場開門及び閉門時刻について
(開門)7:00 (閉門)20:00
- 8) 競技運営上の諸問題は審判長の意見を聞いた上で幹事による話し合いで決定する。それでも決定しない場合は会長の裁定による。
- 9) その他、不明の点は大会本部に問い合わせること。

9 新型コロナウイルス感染症対策

- 1) 来場予定者は競技会開催日の2週間前から健康観察機関とし、来場者全員にスマートフォンアプリ「テレサー体温記録活用アプリ」の利用を推奨する。利用が不可能な場合は紙媒体での提出も可とする。アプリの利用者は、大会当日に検温所で2週間の体調管理が完了していることを証明する来場コードを提示すること。
- 2) ウォーミングアップ時などを除いてマスクの着用を心掛けること。

※今大会は、株式会社新潟アルビレックスランニングクラブ様より、「テレサー体温記録活用アプリ」の無償提供協力を頂いております。

光輝みつ我らが母校明治の名において
若き血に勇める猛き精鋭今ここに
起てり土を蹴りて 闘志は燃ゆる
神技の精華無敵の明治
明治 明治 輝く栄冠戴く我ら
才才、明治 明治 われらが明治



明治大学体育会 競走部 紫交会